

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	岡谷発新しい絹文化を未来へ
事業主体 (連絡先)	NPO 法人 シルク文化協会 〒394-0003 長野県岡谷市加茂町 1-7-32 宮坂雄二方
事業区分	(3)教育・文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,349,379 円 (うち支援金: 1,836,000 円)

### 事業内容

- ・日本絹文化フォーラム 2018 を開催  
岡谷市カノラ小ホールのはじめの会場は 292 名の参加者で盛況であった。絹に関心を持つ市民をはじめ市内外のシルク関係者が集まり、改めて関心の高さが認識され、アンケート調査の結果、継続的開催の希望や内容に関する要望が出され成功裏に終わった。
- ・SUWA ブランドの創出と試作  
織り講習会を開講し、シルク製品の試作を行った。  
前期縄文織りと板織り初級・上級講座  
6月～12月 原村自然文化園会場 17回延べ 153人  
後期板織り初級・中級・上級講座  
7月～11月 岡谷カルチャーセンター会場 10回 180人



板織り講習会場：岡谷市カルチャーセンター

### 【目標・ねらい】

- ① フォーラム開催事業の継続
- ② 板織り・縄文織りの技術習得と新しい糸による試作品の充実
- ③ 絹を使う側から絹文化の魅力を広める

### 事業効果

- ① 絹文化フォーラムは参加者が会場の定員を厳守したため 292 人と昨年に比べて若干参加者の数が減ったが、会場から様々な意見や質問が出され、次回に向けた期待感が表れ充実した内容であった。継続的開催の希望が多かったことは大きな成果であった。
- ② 織り技術の習得とより高度の技術を学び、新しい糸「銀河シルク」による試作に入り始めることができたため、試作品の完成に手ごたえを感じることができた。

### ※自己評価【 A 】

- 【理由】
- ・参加者から様々な要望が出され期待の多いことがわかった。
  - ・織りの講習は前期、後期延べ 333 人と当初の目標に達した。
  - ・新しい糸による絹特有の色彩と光沢の作品が完成した。

### 今後の取り組み

絹文化フォーラムを継続して開催していくためには、より大勢の関係者や市民の参加が必要である。やさしい、魅力ある内容の、絹を使う側の人々が参加しやすい内容を工夫して、また様々な分野の絹愛好者の交流の場として発展させていく。また情報を配信・交換できる場、さまざまな活動を進める人の情報発信の場として、ホームページの開設などに努力を重ねていきたい。

SUWA ブランドの創出は、伝統技術の上に、斬新なデザインとシルクの持つ特徴的な色彩を生かした作品、新しい糸による特徴的なオンリーワンの作品の完成をめざして、さらに試作を進め、作品発表の機会を作りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)

岡谷シルクフェアの板織り展示会 11月3日 旧林家住宅にて



2018年度作品(一部)

左下はシルクカバーリング糸  
右は銀河シルク糸



銀河シルク糸